科目名称	母性看護学方法論Ⅰ（母性看護技術）	学年学期	単位数	時間数
		2学年前期	1	15
担当教員	矢野　良子	授業に関わる実務経験	■　有　（　助産師　） □　無	

【1】 授業概要

妊娠期にある母性の特徴と胎児の発育について理解し、その看護ができる基礎的知識・技術を習得する。

【2】 学習目標

1．妊娠期にある母性の身体的・心理的・社会的特徴を説明できる。
2．妊娠期にある母性に対して、正常に経過するための看護について説明できる。
3．ハイリスク因子を持つ母性に対する看護実践に必要な基礎的知識について説明できる。
4．妊娠期に必要な基礎的看護技術を学ぶ。
5．妊娠期の看護過程を展開し、対象に必要な看護を計画できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

■　1. 生活者としての人間の理解
■　2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
■　3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
■　4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■　5. 多職種との連携・協働
■　6. 地域医療の理解と生活の支援
■　7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	妊娠の生理	講義
2	妊娠期の母体の変化と心理的特徴	講義
3	妊婦の健康診査	講義・演習
4	妊婦の健康診査	講義
5	妊婦の看護 ハイリスク妊娠の看護	講義・演習
6	ハイリスク妊娠の看護	講義
7	妊娠期の看護過程の展開 不妊症 出生前診断	演習
8	筆記試験	

【5】 授業評価

科目評価は、筆記試験（80%）、レポート課題（20%）で総合的に評価する。

【6】 教科書

森恵美：系統看護学講座　専門分野　母性看護学各論（第14版）　医学書院　2022

【7】 参考書

ナーシング・グラフィカ 31.母性看護技術，MCメディカ出版
太田　操編著：ウェルネス看護診断にもとづく母性看護過程，医歯薬出版株式会社
平澤美恵子他　監修：写真でわかる母性看護技術，インターメディカ

【8】 受講生へのメッセージ